次世代シニアと現在形シニア

その意識と行動

NEXT OLD ≠ NEW OLD

◎2020年を過ぎる頃から現在の50代は、65歳以上の高齢者の仲間入りをし始めます。今の50代が高齢者の仲間入りをすると超高齢社会はどのように変わるのでしょうか？また、高齢者にとっての幸せや生きがいとは、何なのでしょうか？

▼公益財団法人ハイライフ研究所では、この先の超高齢社会を見据えた研究を行う一環として50代から70代前半男女の生活行動、生活意識調査を実施いたしました。（調査概要を参照）。

▼ここでは、その調査結果の一部を連載コラムとしてご紹介いたします。

「次世代シニア（50代）」と「現在形シニア（60代後半から70代前半）」の年代間比較、男女間比較、ときにそのハザマとなる60代前半の特徴なども織り込みながら、それぞれの意識や行動をお伝えいたします。

▼また、「仮説的」な読み解きや、「一生活者」として感じた生きるためのヒントなども添えていきたいと考えていますので、ぜひご一読下さい。

公益財団法人ハイライフ研究所

＜ハイライフ研究所「次世代高齢者調査」調査概要＞
①調査対象　東京30km圏に居住する満51歳～75歳の男女
②標本数（有効回収数）500　51～55歳・56～60歳・61～65歳・66～70歳・71～75歳　男女計各100
③標本抽出法　エリアサンプリング法　④調査方法　留置法（訪問調査）　⑤調査時期　平成28年10月～11月

次世代シニアと現在形シニア

その意識と行動

NEXT OLD ≠ NEW OLD

第十一回

好きと楽しい、の生活史。

「時層」にみる両者の特徴。

第十一回
好きと楽しい、の生活史。
「時層」にみる両者の特徴。

◇◆調査対象・言葉の定義◆◇

次世代シニア（51歳から60歳）　　現在形シニア（66歳から75歳）

■男性 エンタメ

10代の頃聴いた「ラジオ深夜放送」は世代を越えた共通体験。
次世代シニアは「新しい笑い」を受け入れ楽しんだ世代。
現在形シニアは「ビートルズ」と「映画」を好んだ世代。

■男性 趣味など

若い頃にテニスやアウトドアレジャーを楽しんだ次世代シニア。
現在形シニアは登山、釣り、園芸など自然に親しむ趣味を継続。

■女性 エンタメ

女性は男性よりも文化芸術分野に多くの楽しみを求めて街にでる。
次世代シニアも現在形シニアも、音楽が好き。

■女性 趣味など

世代共通。女性は男性よりも時間消費の楽しみを文脈で捉える。
→「誰といつ何をするのが好き」が大事。

■ 人それぞれに積み重ねてきた「時の層」には、
明日につながる楽しみの原石が潜んでいる。

NEXT OLD ≠ NEW OLD

第十一回 好きと楽しい、の生活史。「時層」にみる両者の特徴。

連載第十一回は、前回に引き続き、ハイライフ研究所刊「次世代高齢者研究報告書～変化し続ける高齢者意識の研究～世代や年代の差異がもたらすもの～」の内容の一部を再掲しながら「好きと楽しい、の生活史。『時層』にみる両者の特徴」と題し、生きてきた時代を振り返りながら現在形シニア（66歳～75歳）と次世代シニア（51歳～60歳）の特徴を探ってまいります。元となる調査内容は下記の通りです。

＜調査内容＞

「次世代高齢者調査」の対象者500人に過去を振り返ってもらい「楽しかったこと・好きだったこと・夢中になっていたこと」を①ファッション、ブランド、スタイル ②エンターテインメント ③趣味、娯楽スポーツ、旅行 ④食べ物、飲み物、食事、飲食店 ⑤街、ショップ、施設 の５カテゴリーについて 「10代」「20･30代」「40･50代」「60･70代」四つの時代に分け、調査時点（2016年11月）に至る年代まで自由回答方式で記入してもらいました。今回はその中の②③の結果からわかった事柄をご紹介いたします。回答の詳細は上記「研究報告書」の巻末に掲載、ホームページでも公開しておりますので興味のある方はぜひご覧下さい。ここでは代表的な内容を一覧表にまとめました。本文と合わせて眺めてみて下さい。

１．「エンターテインメント／趣味・娯楽・スポーツ・旅行」

＊「エンターテインメント」は音楽、映画、テレビ、ラジオ他　と回答欄に注釈を加えて実施した。

①男性／エンターテインメント

10代の頃聴いた「ラジオ深夜放送」は世代を越えた共通体験。
次世代シニアは「新しい笑い」を受け入れ楽しんだ世代。
現在形シニアは「ビートルズ」と「映画」を好んだ世代。

『エンターテインメント』

「次世代シニア」と「現在形シニアの内、60代後半」までに共通するのが「オールナイトニッポン」など10代の頃に聴いたラジオ深夜放送の存在です。深夜という時間帯、音楽、パーソナリティへの共感性、リクエストなどの参加性がコミュニティとしての場を形作り、思春期の体験として今も心の古層を彩っています。今はインターネットやＳＮＳがラジオ深夜放送が果たした役割の一部を担っていますが、シニアにとってラジオは今も身近な存在であり続けているのではないでしょうか。

「次世代シニア」が好み、楽しんだものとして特徴的なのがテレビのお笑い番組、特に「オレたちひょうきん族」の存在があります。この番組が放送された80年代（放送は1981年～89年）は様々な若者文化やサブカルチャーが開花しました。野田秀樹（夢の遊眠社）などの小劇場演劇でも新たな感覚の笑いが溢れていました。共通するのは速射砲のような言葉の応酬であり、時代の共通体験を基盤とした知的な要素の笑いとドタバタやアドリブ感覚が混在している点です。また、どちらも底にある「仲間意識」が受け入れられた要素だと感じます。「この新しい笑いがわかる、で繋がる仲間」、まさに「族」への帰属です。

「次世代シニア」が大学生の頃は同好会が活発だったことや、「議論（対話）より談笑（会話）」を好むことも無縁ではないでしょう。また「笑い」を一段下に見ることなく、その批評性や可能性を受け入れた世代ともいえます。次世代シニアに受け入れられ続けているサザンオールスターズが歌詞に笑いと叙情を共存させていることにも共通する世代感覚を感じさせます。「笑い」「仲間とつるむ楽しさ」が重要な要素といえそうです。

「現在形シニア」に目を向けると「ビートルズ」が共通体験になっています。毎年のように高価なボックスセットや音質が向上したアルバムがリリースされ、決して過去のものにはならない普遍の楽しみを享受しています。「現在形シニア」の観てきたもので目立つのが「男はつらいよ」の寅さんシリーズや任侠ものなどの「映画」です。映画への嗜好が時を経て大河ドラマや２時間サスペンスドラマ、時代劇の専門チャンネルなどの視聴につながっている様子がうかがえます。近年ではテレビの旅番組やグルメ番組が、ぐっと存在感を増しています。

NEXT OLD ≠ NEW OLD

②男性／趣味・娯楽・スポーツ・旅行

若い頃にテニスやアウトドアレジャーを楽しんだ次世代シニア。現在形シニアは登山、釣り、園芸など自然に親しむ趣味を継続。

『趣味・娯楽・スポーツ・旅行』

「次世代シニア」は若い頃からテニス、スキー、ドライブやバイクのツーリングに親しんできました。20･30代の頃はキャンプ（アウトドアレジャー）、ディスコ、海外旅行、40･50代になるとゴルフ、カラオケ、食べ歩きや街歩きなどが目に付きます。神社仏閣巡りを始めた人もいます。釣りは若い頃からずっと続けている人も多いようです。ドライブの楽しみはクルマ技術の進歩が身体機能の衰えを補うことで暫くは続けられそうです。楽器演奏は今後、時間やお金に余裕ができることから復活するケースが多く見られそうです。

「現在形シニア」に目を向けると、登山、ハイキング、釣り、園芸など自然に親しむ趣味の継続が確認できます。

旅行については世代を問わず海外旅行→国内→温泉→街歩き、など近いところへ向かう層と、世界遺産などのテーマを追いかけ海外旅行に頻繁にでかける層のいずれも存在しています。

■男性の時層ＭＡＰ

分野	10代	20代･30代	40代･50代	60代･70代
	1970年代･80年代前半	1980年代～2000年代前半	2000年代･2010年代前半	2010年代後半
ファッション･ブランド･スタイル	アディダス　プーマ　リーバイス ニュートラ　サーファー	ポロ　ラルフローレン　ポールスミス ブルックスブラザーズ トラディショナル　海外高級ブランド　DCブランド	ユニクロ　GAP　エディバウアー　サカゼン ファストファッション　クロコダイル　新素材/新機能	
エンターテインメント	オレたちひょうきん族 ザ･ベストテン オールナイトニッポン	サザンオールスターズ　松任谷由実　松田聖子 オレたちひょうきん族　お笑い番組　おにゃんこクラブ	20代の頃聴いた曲　ジブリやCGの映画 お笑い番組（エンタの神様･吉本新喜劇･笑点など）	
趣味･娯楽･スポーツ･旅行	野球　テニス　スキー　バイク 釣り　インベーダーゲーム	クルマ　ゴルフ　スキー　テニス　アウトドア 海外旅行　国内旅行　魚釣り Jリーグ観戦　楽器演奏	クルマ　サイクリング　ウオーキング　ゴルフ　バイク 海外旅行　国内旅行　温泉　魚釣り　カラオケ	
食べ物･飲み物･食事･飲食店	マクドナルド　コカコーラ　餃子 カップヌードル　吉野家　炭酸飲料	居酒屋　ファミレス　ショットバー　回転寿司 ビール　ラーメン　焼肉　焼酎　バーボン	居酒屋　立ち飲み　サイゼリア　スターバックス 回転寿司　ラーメン　ビール　ハイボール　ワイン	
街･ショップ･施設	渋谷　新宿　伊勢佐木町 ボウリング場　ゲームセンター	渋谷　新宿　銀座　ディズニーランド ファミリーレストラン　スポーツクラブ	アウトレットモール　ディズニーシー　USJ ホームセンター　イケア　コストコ　ショッピングモール	
	1960年代後半･70年代	1970年代後半～90年代	1990年代後半～2010年代前半	2010年代後半
ファッション･ブランド･スタイル	VAN　JUN　ジーンズ　スポーツ アイビー　ヨーロピアン　パンタロン	VAN　JUN　バーバリー　DOMON トラディショナル　海外ブランド　アメリカンカジュアル	ユニクロ　GAP　ビームス　シップス ファストファッション　ボタンダウン	
エンターテインメント	ビートルズ　フォークソング オールナイトニッポン 8時だよ全員集合	サザンオールスターズ　ニューミュージック サタディナイトフィーバー　ぴあ　ポパイ	サザンオールスターズ　ジャズ　K-POP お笑い番組（とんねるず他）　大河ドラマ YOUTUBE	
趣味･娯楽･スポーツ･旅行	サッカー　スキー バスケットボール クルマ　バイク　ツーリング　野球	クルマ　バイク　ツーリング　ゴルフ キャンプ　ダイビング 国内旅行　海外旅行　観劇　麻雀　ディスコ	食べ歩き 街歩き　スキー　釣り　ゴルフ 国内旅行　神社仏閣巡り　ランニング	
食べ物･飲み物･食事･飲食店	マクドナルド　コーラ　肉料理 カップヌードル　ラーメン	居酒屋　ファミレス　イタリア料理　アジア料理 ビール　ワイン　ファストフード　ティラミス	回転寿司　居酒屋　ファミレス　夫婦で居酒屋 王将　コーヒー　ワイン　焼酎　和食	
街･ショップ･施設	吉祥寺　新宿　渋谷 デパート　中野ブロードウエイ	銀座　新宿　渋谷　神保町 ディズニーランド　アウトレットモール	アウトレットモール　ショッピングモール ヒルズ　ミッドタウン　ドンキホーテ　イケア	
	1950年代後半･60年代	1960年代後半～80年代	1980年代後半～2000年代	2000年代後半･2010年代後半
ファッション･ブランド･スタイル	VAN　JUN　ジーンズ アイビー　まったく気にしない	VAN　JUN　バーバリー アイビー　トラディショナル　ジーンズ	ユニクロ　バーバリー　クロコダイル ファストファッション　クールビズ	ユニクロ　クロコダイル　しまむら ジーンズ　登山用品
エンターテインメント	深夜放送　オールナイトニッポン 少年漫画誌　映画　ビートルズ	映画（寅さんシリーズ･やくざ･アクション･マックイーン） 野球中継　ラジオ深夜放送　小説	大河ドラマ　演歌　落語　ゴルフ･野球中継 映画（アクション･サスペンス･SF）	朝ドラ　大河ドラマ　旅番組　グルメ番組　相棒 歴史番組　野球中継　読書　YouTubeで昔の曲
趣味･娯楽･スポーツ･旅行	バスケット　バレーボール　魚釣り 鉄道　野球　ボウリング	登山　釣り　野球　模型　放浪旅行 鉄道　国内旅行　海外旅行　カメラ	釣り　園芸　ハイキング　ゴルフ　スポーツ観戦 鉄道　カラオケ　国内旅行　海外旅行	登山　ハイキング　ゴルフ　模型　釣り 鉄道　ウオーキング　夫婦旅行
食べ物･飲み物･食事･飲食店	コカコーラ　カレー　ラーメン イタリア･洋食店	デニーズ　スカイラーク　不二家レストラン　肉類･肉食 喫茶店　ビール　居酒屋　キャバレー	ファミリーレストラン　スナック　居酒屋　回転寿司 焼肉　うどん　そば　ラーメン	居酒屋　回転寿司　スナック うどん　そば　日本料理
街･ショップ･施設	渋谷　新宿　銀座 繁華街　野球場	渋谷　新宿　銀座　上野アメ横　新橋 新宿ピットイン　高円寺　高層ビル	銀座　新橋　新宿　神田　日本橋 ショッピングセンター　明治座	ショッピングセンター　ホームセンター　カインズ アウトレットパーク　図書館　登山用品店
	1950年代･60年代前半	1960年代～80年代前半	1980年代～2000年代前半	2000年代～2010年代後半
ファッション･ブランド･スタイル	マンボスタイル　Gパン 学生服　関心なし	ラコステ　VAN　JUN　Gパン アイビー　ポロシャツ　Gパン　スーツ	ミラション　ディオール　青山　アオキ スーツ　スラックス　チノパン　ポケットチーフ	ユニクロ　イオン　ミラション ブレザー　ポロシャツ　チノパン
エンターテインメント	ラジオ （野球･演歌･赤胴鈴乃助） 時代劇　プロレス中継	映画（日活･東映･やくざ･西部劇･ハリウッド･ プレスリー･裕次郎） テレビ（野球･プロレス中継）ロック　ムード歌謡曲	歌謡曲　大河ドラマ　時代劇 大沢悠里のゆうゆうワイド	演歌･歌謡番組　大河ドラマ　笑点　DVD鑑賞 はぐれ刑事　読書　野球中継　大沢悠里
趣味･娯楽･スポーツ･旅行	野球　登山　サイクリング　スキー 蝶々収集　鉄道模型　一人旅	登山　スキー　釣り　プロレス･野球･相撲観戦 競馬　ゴルフ　音楽鑑賞　国内旅行	釣り　野球観戦　ゴルフ　国内旅行　海外旅行 カラオケ　散歩　一人旅	国内旅行　夫婦旅行　園芸･ガーデニング カラオケ　麻雀　ウオーキング
食べ物･飲み物･食事･飲食店	コカコーラ　サイダー　バヤリース デパート大食堂　鯨肉 さつまいも	コーラ　酒　ビール　ウイスキー めし屋　とんかつ	ビール　お酒　回転寿司　ファミレス 焼肉　肉	ファミレス　和食　一杯飲み屋 ビール　好きなものを少しだけ
街･ショップ･施設	商店街　縁日　百貨店 渋谷　マーケット	新宿　銀座　上野 ショッピング　デパート　東京タワー	ショッピングセンター　ホームセンター　デパート 六本木　カインズ　フィットネス	地元駅前･商店街 コンビニ　図書館　スカイツリー

NEXT OLD ≠ NEW OLD

③女性／エンターテインメント

女性は男性よりも文化芸術分野に多くの楽しみを求めて街にでる。次世代シニアも現在形シニアも、音楽が好き。

『エンターテインメント』

「次世代シニア」の女性が楽しんだエンターテインメントを同世代男性と比べると、アーティスト名やジャンル名など、音楽系の想起が多く見受けられます。「ユーミン（松任谷由実）」「サザンオールスターズ」などに、50代後半層では「ミスターチルドレン」「ドリームカムトゥルー」「松田聖子」などが、50代前半層では「チェッカーズ」や「ジャニーズ系アイドル」「福山雅治」などが加わります。もうひとつ男性より多い傾向が目に付くのが文化芸術分野に楽しみを求めて街に出てきた点です。「宝塚歌劇団」などのミュージカルや「美術展」などが挙げられます。近年、美術展に行列が出来たことが多くなりましたが、「現在形シニア」や若い層も含め女性が目立っているのもうなづけます。

「現在形シニア」の女性をみても「エルビス·プレスリー」「ビートルズ」から、グループサウンズ、フォークソング、歌謡曲、演歌まで、音楽の楽しみを彩る固有名詞や分野名が時代を追って登場します。

「次世代シニア」が愛好する音楽は下の世代とも好みを共有し、今なおチャート入りする「現役感」のあるアーティストが多く、「現在形シニア」のそれには「懐メロ」感があります。「次世代シニア」の方が若いから当然、と一概に言えない時代の断層を感じます。

「現在形シニア」女性は男性同様に映画やドラマを好んでいますが、登場するタイトルは洋画、韓国ドラマ、サスペンスものが好みの主流です。

④女性／趣味・娯楽・スポーツ・旅行

世代共通。女性は男性よりも時間消費の楽しみを文脈で捉える。→「誰といつ何をするのが好き」が大事。

『趣味・娯楽・スポーツ・旅行』

女性の「趣味・娯楽」については次頁表の「食べ物・飲み物・食事・飲食店」「街・ショップ・施設」の欄と一体でみていく方が良いでしょう。食べ歩き、ショッピング、芸術文化を求めて男性以上に街をエンジョイしてきた印象が行間から読み取れます。

「次世代シニア」は、若い頃、テニス、スキー、ペンションといったリゾート感覚のある遊びに目覚め、20·30代は家族旅行、キャンプ、ディズニーランドといった家族中心の遊びにシフトしますが40·50代になってもテニスを続けている（又は再開する）姿が目に浮かびます。また、調査個票を詳しくみていくと、「ジャニーズアイドルのライブを『娘』と一緒に」や「夫婦で外食」、「友人とぜいたくランチ」といった表現が目を惹きます。時間消費を楽しむ際に「誰と、いつ、何をするのが好き・楽しい」という文脈を男性よりも大事にしている証ではないでしょうか（「現在形シニア」女性も同様です）。また、若い頃から今日に至るまで豊富な外食体験を有し、「（好きな）街」は年代とともに横浜元町→渋谷→銀座と変化していく流れを感じさせます。

「現在形シニア」に目を向けると10代・20代の頃で特徴的なのは「ボウリング」です。近年で目立つのはストレッチ、体操、ヨガ、フラなどのダンスです。美容と健康によく、無理なく出来て、仲間作りや発表の楽しみも得られるところが魅力なのでしょう。バイキングランチなど友人との美味しいもの巡りも盛んです。仲良しの友人と共に日頃より少し贅沢な気分を味わい、街の雰囲気を楽しみ、ダンスやヨガでカラダを動かす。これはもう心と体に好循環をもたらす最高の習慣といっても過言ではありません。

■女性の時層ＭＡＰ

分野	10代	20代・30代	40代・50代	60代・70代
	1970年代・80年代前半	1980年代～2000年代前半	2000年代・2010年代前半	2010年代後半
ファッション・ブランド・スタイル	ピンクハウス ミルク ハマトラ アイビー DCブランド	ルイヴィトン グッチ ラルフローレン ブルックスブラザース DCブランド ハイブランド ボディコン	ユニクロ ラルフローレン GU ZARA ファストファッション パンツスタイル 体型カバー	
エンターテインメント	サザン ユーミン クイーン JJ ザ・ベストテン オールナイトニッポン	ユーミン チェッカーズ サザン 山下達郎 アンアン たまひよ トレンディドラマ ジブリ ディズニー お母さんといっしょ	ジャニーズ サザン 福山雅治 韓流 冬のソナタ 海外ドラマ 行ってQ 行ってQ STORY ライブ(コンサート)	
趣味・娯楽・スポーツ・旅行	テニス スキー ベンション 国内・海外旅行	スキー テニス 国内・海外旅行 温泉 家族旅行 ディズニーランド BBQ	国内・海外旅行 バス旅行 テニス ガーデニング ジャニーズライブへ娘と一緒に	
食べ物・飲み物・食事・飲食店	マクドナルド ファストフード ファミレス 甘いもの	イタリアン・イタメシ パスタ・ティラミス ファミレス サイゼリヤ ビヤガーデン 食べ歩き	ランチバイキング ディナーバイキング タイ・韓国料理 スターバックス 回転寿司 イタリアン	
街・ショップ・施設	ラフォーレ原宿 竹下通り 渋谷 ディズニーランド 新宿	渋谷 新宿 銀座 六本木 町田 ディズニーランド ららぽーと 大型ショッピングセンター カラオケ	アウトレットモール ららぽーと コストコ ルミネ 新宿 渋谷 銀座 二子玉川 自由が丘	
	1960年代後半・70年代	1970年代後半～90年代	1990年代後半～2010年代前半	2010年代後半
ファッション・ブランド・スタイル	VAN ミハマ BIGI フクゾー ハマトラ ニュートラ ミニスカート	コムデギモード ROPE ジュンコシマダ ハマトラ DCブランド モノトーンファッション ジーンズ	ユニクロ 23区 ラルフローレン セオリー カジュアル ファストファッション テレビ通販	
エンターテインメント	ビートルズ グループサウンズ 小さな恋のメロディ MCシスター	サザン ユーミン ニューミュージック 山口百恵 松田聖子 ミュージカル・宝塚 ふぞろいの林檎たち アンアン	サザン ミスチル ドリカム ゆず タイタニック 美術展 韓流ドラマ 海外ドラマ 朝ドラ 通販番組 STORY	
趣味・娯楽・スポーツ・旅行	ボウリング ディスコ ダンス スキー サーフィン	テニス ゴルフ 海外旅行(ハワイ・ロス) 家族旅行 ダイビング キャンプ ディズニーランド	海外旅行 夫婦旅行 テニス スキー 登山 ディズニーシー	
食べ物・飲み物・食事・飲食店	ピザ シェイキーズ マクドナルド アイス チョコレート	イタリアン・フレンチ・焼肉・中華・和食・回転寿司 美味しいケーキ屋 ファミレス 居酒屋 お酒	韓国料理 イタリアン 回転寿司 居酒屋 バル ビール ワイン 家ごはん 夫婦で外食	
街・ショップ・施設	横浜元町 新宿 原宿 渋谷 ディスコ ライブハウス 駅ビル	渋谷 池袋 六本木 銀座 ディズニーランド 109 自宅周辺 児童施設	銀座 新宿 (新百合ヶ丘・吉祥寺・北千住) アウトレットモール ららぽーと レイクタウン	
	1950年代後半・60年代	1960年代後半～80年代	1980年代後半～2000年代	2000年代後半・2010年代後半
ファッション・ブランド・スタイル	コムデギャルソン カルダン 三愛 ミニスカート	ディオール イトキン レリアン パンタロン ミニスカート クロエのコート	イッセイミヤケ イナバヨシエ 自由区 無印良品 ロングパンツ スカート	ユニクロ GAP セリーヌ 流行にとらわれない・追わない ロングスカート パンツスタイル
エンターテインメント	ビートルズ グループサウンズ 米国ホームドラマ 洋画	フォークソング ニューミュージック テレビの音楽番組 ディスコ カラオケ クロワッサン 吉田照美 浅間山荘事件(TV)	カラオケ ライブハウス 韓流ドラマ 米国映画 サスペンスドラマ テレビで洋画 クロワッサン 永六輔	コンサート 歌番組 旅番組 クイズ番組 大沢悠里 ラジオ深夜便
趣味・娯楽・スポーツ・旅行	テニス バレーボール ボウリング 読書 刺繍 合唱	登山 スキー 海・山 ボウリング テニス 映画 読書 着付け 社交ダンス 国内旅行	テニス ゴルフ 国内旅行 海外旅行 夫婦旅行 バスツアー スポーツジム 美味しいもの巡り	国内旅行 温泉旅行 バスツアー 家庭菜園 歌舞伎 美術鑑賞 寺社巡り フラダンス ホットヨガ
食べ物・飲み物・食事・飲食店	お茶ノ水ジロー ピザパイ インスタントラーメン ケーキ	トップスのカレー 赤ひょうたん 焼肉 キャンティチキンバスケット コークハイ	バイキング(ランチ・ケーキ) 回転寿司 寿司 ワイン 日本茶 紅茶 食べ歩き	ホテルバイキング 回転寿司 寿司 和食 友人と贅沢コースランチ 夫婦の外食
街・ショップ・施設	銀座 渋谷 新宿 デパート	銀座・並木通り 新宿 六本木 デパート・伊勢丹 駅ビル	銀座 (目黒・日本橋・上野・立川・・) ショッピングセンター デパート・デパ地下 銀座アンテナショップ	銀座 デパート巡り アウトレットモール 美術館・上野 地元図書館
	1950年代・60年代前半	1960年代～80年代前半	1980年代～2000年代前半	2000年代～2010年代後半
ファッション・ブランド・スタイル	親の手作り 三愛 三越 サブリナ ボーイッシュ トラッド	サンローラン ピエールカルダン 鳥居ユキ ミニスカート パンタロン ワンピース	グッチ ルイヴィトン エルメス シンプル エレガント キュロット 社交ダンス着	ワールド セリーヌ ユニクロ 自由区 普通のもの フラダンス着
エンターテインメント	プレスリー 美空ひばり ラジオ番組 少女クラブ	グループサウンズ ジャズ ザ・ピーナッツ サウンドオブミュージック 洋画 労音	大河ドラマ おしん 歌謡曲 家族でテレビ 婦人公論 生活情報誌	韓流ドラマ テレビ(映画・健康・旅行・音楽・・) 寄席・美術館・観劇・コンサート
趣味・娯楽・スポーツ・旅行	バレーボール アイススケート 生け花 旅行 琴 書道	テニス ボウリング 遊園地 年1回の家族旅行 一泊旅行 社内旅行	テニス 海外旅行 国内旅行 東京散歩 カラオケ 東京散歩 ストレッチ体操 ダンス	温泉旅行 近郊旅行 食事会 カラオケ 趣味サークル 社交ダンス
食べ物・飲み物・食事・飲食店	デパートのお好み食堂 カレー コーヒー チョコレート	コーヒースタンド 喫茶店 ニコラスピザハウス カレー 寿司 お好み焼き あんみつ	ランチ食べ歩き バイキング 中華料理 コーヒー ワイン 居酒屋 スナック	仲間との外食 夫婦の外食 寿司 和食 うなぎ
街・ショップ・施設	銀座 デパート・日本橋 歌声喫茶 駅前商店街	銀座・銀ブラ デパート ウインドウショッピング 浅草仲見世 ボウリング場 屋上ビアガーデン	銀座 デパート・デパ地下 ソニープラザ 船橋ヘルスセンター サンシャインシティ	ららぽーと レイクタウン 地元商店 ヤフー・アマゾン

NEXT OLD ≠ NEW OLD

2．次世代シニアと現在形シニア、その人生時期と時代背景

①年表で追う次世代シニアと現在形シニアの生きてきた時代背景

ここからは調査結果を離れて、次世代シニアと現在形シニアが生きてきた時代背景を出来事や流行などをもとに両者の世代的特徴を捉えていきたいと思います。下の年表は、10年ごとに区分した時代の「出来事・流行」事象と、シニア各層をさらに前後半で分け、それぞれの中心年齢の人がいつ生まれ、例えば1970年代なら何歳台だったかを示したものです。なお文中に登場する出来事や流行が網羅されてるわけではありませんのでご承知おき下さい。

■出来事・流行年表

時代	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代
出来事・流行（前半）	真珠湾攻撃・太平洋戦争	朝鮮戦争・警察予備軍	60年安保・キューバ危機	大阪万博・一億総中流社会
	言論統制強化・特高警察言論弾圧	サンフランシスコ講和条約	吉展ちゃん事件・ケネディ暗殺	モーレツからビューティフルへ
	国策戦争映画・李香蘭ショー	君の名は・七人の侍・ローマの休日	東京オリンピック・東海道新幹線	沖縄返還・あさま山荘事件
	ラバウル海軍航空隊（灰田勝彦）	NHK本放送・街頭テレビ・力道山	上を向いて歩こう　みゆき族	ベトナム和平・石油危機
	東条内閣総辞職	三種の神器普及・ミツワ石鹸CM	リポビタンD・かっぱえびせん	アンノン族・カップヌードル・神田川
出来事・流行（後半）	原爆投下・敗戦・玉音放送・GHQ	55年体制・高度経済成長	いざなぎ景気・日本総人口1億人	ロッキード事件・田中角栄逮捕
	昭和天皇人間宣言・新憲法施行	皇太子ご成婚・東京タワー	大学紛争・成田闘争・3億円事件	日中平和友好条約・沖縄海洋博
	63制開始・女性参加初の総選挙	日清チキンラーメン・スーパーカブ	GNP世界2位・エコノミックアニマル	ジャパンアズナンバーワン
	リンゴの唄・東京ブギウギ・斜陽族	太陽族・ダッコちゃん	ビートルズ来日・グループサウンズ	スターウオーズ　角川映画
	帝銀事件・湯川秀樹ノーベル賞	ソ連スプートニク打上げ成功	少年ジャンプ・アポロ月面着陸	サザンオールスターズ　ウオークマン
次世代シニア50代前半			中心年齢層1963年誕生→	10代（1973年～1982年）
次世代シニア50代後半		中心年齢層1958年誕生→	10代（1968年～1977年）	10代（1968年～1977年）
現在形シニア60代後半	中心年齢層1948年誕生→	10代（1958年～1967年）	20代（1968年～1977年）	20代（1968年～1977年）
現在形シニア70代前半	中心年齢層1943年誕生→	10代（1953年～1962年）	20代（1963年～1972年）	30代（1973年～1982年）

時代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
出来事・流行（前半）	自動車生産台数世界一に	ソ連消滅　湾岸戦争　バブル崩壊	小泉純一郎政権　介護保険制度	東日本大震災 福島原発事故
	家庭内暴力　グリコ森永事件	細川連立内閣・村山連立内閣	米国同時多発テロ　雪印食中毒	尖閣諸島沖巡視船衝突
	西武百貨店（おいしい生活）　DC	ジュリアナ東京　いじめ社会問題化	イラク戦争　個人情報保護法	第二次阿倍内閣 アベノミクス
	TDL開園　ひょうきん族　ファミコン	東京ラブストーリー　ちびまる子	インターネット普及 地デジ放送開始	iPS細胞　無縁社会　アイフォン
	金曜日の妻たちへ　とらば一ゆ創刊	価格破壊　就職氷河期　もつ鍋	振り込めサギ　韓流ブーム　ニート	あまちゃん　半沢直樹　女子会
出来事・流行（後半）	プラザ合意　円高不況　バブル経済	阪神淡路大震災　オウム事件	日本の総人口減少へ　郵政選挙	ISL日本人殺害　インバウンド
	リクルート事件　チェルノブイリ事故	金融破綻　世界同時株安	阿倍内閣 ライブドア事件 耐震偽装	一億総活躍社会（内閣）　AKB
	NTT・JR民営化　私をスキーに	EUユーロ導入　携帯電話普及加速	リーマンショック　消えた年金記録	マイナンバー制度　熊本地震
	ドライビール戦争　ノルウエーの森	プリウス　百円ショップ　ポケモン	格差 ネットカフェ難民　団塊定年	東京五輪へ
	昭和天皇崩御　平成に改元	ミリオン続出　酒鬼薔薇事件	オバマ政権 民主党政権 草食肉食	
次世代シニア50代前半	20代（1983年～1992年）	30代（1993年～2002年）	40代（2003年～2012年）	50代（2013年～2022年）
次世代シニア50代後半	20代（1978年～1987年）	30代（1988年～1997年）	40代（1998年～2007年）	50代（2008年～2017年）
現在形シニア60代後半	30代（1978年～1987年）	40代（1988年～1997年）	50代（1998年～2007年）	60代（2008年～2017年）
現在形シニア70代前半	40代（1983年～1992年）	50代（1993年～2002年）	60代（2003年～2012年）	70代（2013年～2022年）

②出来事で追う次世代シニア（50代前半・後半）の生活史（歩み）

●次世代シニア50代前後半とも高度経済成長期に生まれ、その親たちが高度経済成長を支えていました。

●誕生期には既に民放テレビ局も開局、東京オリンピック開催でテレビ受像機の普及率も高まり、テレビとともに育った世代でもあります。テレビ番組では特撮もの、お笑い、アニメなど分野が広がり「仮面ライダー」や「笑点」など、今なお続くものには子供の頃から接し、その楽しみを子ども世代へと継承しています。

●50代前半層は子供の頃、後半層は10代の頃に米国から上陸したファストフードを体験、「カップヌードル」も同時期に発売されるなど新しい食文化の洗礼を受けました。50代前半層は共通一次試験開始前後に受験期を迎えています。この頃、ロック音楽や映画の米国における巨大産業化の波を受け「エンターテインメント」が分野を越えて広がりを見せていきます。国内の音楽も歌謡曲だ、ロックだ、といった従来の硬直した区分が意味をなさなくなり、ボーダーレスに好き嫌いで選択することが増えていったのも、この頃の彼らが牽引した感性といえます。

（次頁へ続く）

出来事・流行時層

●次世代シニアのうち50代後半層は20代から30代前半頃を、世界に冠たる日本型経営「ジャパン アズ ナンバーワン」が注目を浴びた時期からバブル期で過ごしています。少し下の50代前半層も20代をバブル経済の中で過ごし、多様に楽しみを広げています。前述のように新しいタイプのお笑いをいち早く受け入れたのも彼らです。その後、バブル経済は崩壊し、失われた20年と呼ばれる時代を過ごしますが、消費が多様化しブランドも飛躍的に増える中で若い時期を過ごし、選択眼を養うことができた世代です。「ユーミン」が描く歌世界に象徴される、洗練された街の暮らしが体現できる人たちともいえましょう。また、男女雇用機会均等法で総合職の女性が増えるとともに女性のライフコースが多様化した世代でもあります。洒落たレストランのみならず、居酒屋などで女性同士が酒を嗜む光景もこの世代が牽引していたように思えます。現在形シニアが20代、30代だった時代と比べると、女性の社会進出が進んでいたことも次世代シニアを考える上での大きな差といえましょう。

●リーマンショックの頃に40代後半から50代前半の時期を迎え、親の介護も始まる年齢となる一方、年金給付年齢は遠のき、無縁社会、単身社会、老後破産、終活など、超高齢社会や自らの将来に関わる情報をシャワーのように浴びながら彼らは過ごしました。高齢期を迎えた後の仕事、家族、楽しみ、それを支える資金と健康について前の世代よりも早くから考えざるを得なかった世代ともいえます。「60歳の定年後、仕事をするか余生を楽しむか」という旧文脈な悩みを抱える余裕も無く、当分は楽しみと仕事を両立させる人生設計が標準となる世代でしょう。かといって「人生100年時代」に踊らされることなく、また団塊世代など高齢期の先輩の動向も先行事例として冷静に参考にしながら、自らの足許を見据え、持ち前の選択眼で人生の楽しみを企ててもらいたいものです。

②出来事で追う現在形シニア（60代後半・70代前半）の生活史（歩み）

●現在形シニアのうち70代前半の人たちは太平洋戦争下で生まれ、戦後の混乱を幼児期に体験しています。明治、大正から戦前生まれの親のもとで育ち、その価値観も引き継いでいることでしょう。60代後半層はほぼ団塊世代=ベビーブーマーと重なります。戦後世代とはいえ、サンフランシスコ講和条約以前の連合軍占領時期（国際法上は戦争状態）、戦後復興期に生れています。アメリカ文化への憧れや信奉には、占領下で生まれ育った影響もうかがえます。

●70代前半層は戦後10代の頃、外国人レスラーをやっつける力道山、エルビスプレスリー人気に端を発するロカビリーに熱中します。巨人軍長嶋茂雄への熱狂はその後、プロ野球ナイター中継を娯楽の主役に押し上げていきます。そして高度経済成長期を20代、30代の社会人として支えていきます。団塊世代とほぼ重なる60代後半層は高度経済成長期を10代から20代前半の頃に過ごしました。エレキブーム、ザ・ビートルズの来日公演、世界各地で起きた若者の異議申し立てと同期同調するかのように大学闘争の時期を過ごします（大学進学率は男女平均10%台、男性では20%台）。卒業後は就職、上の世代が築いた成長を引継ぐ形で社会人となります。若い頃に夢中になった登山は今でも楽しんでいます。恋愛結婚で核家族を築いた最初の世代、友達親子を志向した最初の世代、人口が多いことから競争心が強い世代ともいわれます。統計をとったわけではありませんが自分たちが「団塊世代」と言われることを気に入っている、又は矜持を持っている人が多く見受けられるのは面白いところです。

●70代前半層はバブル経済前夜からバブル崩壊に至る時期を働き盛り、企業の中心ともいえる40代で過ごし、その後の就職氷河期、金融破綻、世界同時株安の時代に経営層として困難な舵取りを担う年頃となります。一方、60代後半層は2000年代に50代となり、インターネットの出現による産業。娯楽、社交分野（SNSなど）の激変を味わいつつ定年期を迎えます。また、女性たちは韓流ブームを牽引し、親から子へ、周囲へと好みの輪（仲間）をどんどん広げていきました。

●2007年、日本の高齢化率が21%を上回り超高齢社会となった時期に現在形シニアの中心年齢は62歳でした。この年は団塊世代の就労者の多くが定年を迎えました。この頃より元気な高齢者像が話題となり、アクティブに楽しみを謳歌するシニア像が取上げられ、その保有資産をベースとして消費が増えることが期待される一方で高齢単身世帯の増大、孤独死、高齢者の生活保護増加など光と影が浮き彫りになっていきます。これから後期高齢者年齢を迎える現在形シニアは、健康寿命が気になる年齢となっています。

NEXT OLD ≠ NEW OLD

結びに。

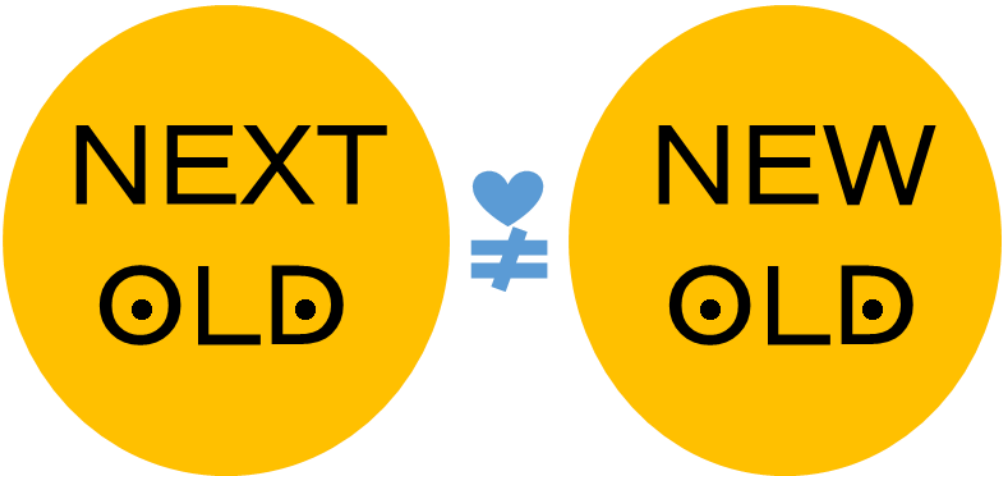
人それぞれに積み重ねてきた「時の層」には、明日につながる楽しみの原石が潜んでいる。

自らの「楽しかったことや好きだったこと」を時代を遡りながら振り返り記録するという行為は、人にとって楽しいことのようです。「次世代高齢者調査」でかなり多くの質問に回答いただいた後の記述のお願いということで実施にあたってはどの程度回収できるか不安がありました。しかしかなり熱心に回答いただいたばかりか、その文面から書くことを楽しんでいる様子が伺えるものも多数ありました。

この調査の狙いは「世代の共通体験、楽しみの生活史」を読み取る中から今後の楽しみの在り方を考察することでした。そして、楽しみや好きなものは年齢とともに変化しつつもそこには人それぞれの文脈が息づいているということに改めて気付かされました。

「楽しみの生活史」は「時層」と名づけました。時の流れと共に堆積してできた地層の中には土砂のほか、化石や様々な生物の痕跡があります。かつてショーン・コネリーが出演したウイスキーのCMコピーに「時は流れない。それは積み重なる」というものがあります（サントリー・クレスト12年）。人も同様。人が積み重ねる「時の層」はその人を形成し、その中に現在、未来につながる人生の楽しみの原石も潜んでいるのではないでしょうか。人生経験を積み重ねて若い頃に読んだ本、聴いた音楽、観た映画に改めて触れると以前とは異なる発見があるはずです。初めてのことに挑戦しようとする心の中にも、時層は息づいているのではないでしょうか。

最後までお読みいただきありがとうございました。



Copyright©2017 Research Institute for High-Life

連載第十二回予定

「最終回に」（仮題）。

公益財団法人ハイライフ研究所